

東日本大震災からの復興状況（水産業関連）

令和2年7月18日「ほや量販店フェア」



むすび丸 水産ver
(仙台・宮城観光PR担当課長)



宮城県 水産林政部
令和3年5月



水産関係被害額の状況 (推計による概算)

◎水産業関連被害額 **6,804億円** (H25.4月現在)
(水産加工関係被害を含む) **8,728億円**

漁港施設

- ・漁港施設, 海岸保全施設等の損壊等 [被害額: **約4,386億円**]

漁船等

- ・20 t 未満の漁船 (12,005隻) の大破, 滅失等 [被害額: **約1,022億円**]
- ・20 t 以上の漁船 (18隻) の大破等 [被害額: **約107億円**]

水産物等

- ・ノリ, ワカメ, カキ, ホタテ, ホヤ, ギンザケ等の流失等 [被害額: **約332億円**]

養殖施設

- ・養殖施設の損壊, 滅失 [被害額: **約282億円**]

水産施設

- ・共同利用施設, 流通加工施設等の損壊等 [被害額: **約482億円**]

漁業用資材

- ・定置網, 養殖用資機材 (乾燥機等) の損壊, 滅失 [被害額: **約193億円**]

水産加工関係

- ・水産加工場, 冷凍冷蔵庫等の損壊, 滅失 [被害額: **約1,924億円**]



陸に打ち上げられた漁船



絡み合った養殖施設



被災した石巻魚市場

漁港の復旧状況 (令和3年3月末現在)

災害復旧工事発注状況

東日本大震災より県内にある142漁港全てが被災したことから、復旧工事を進めています。

●着手状況 (災害査定件数ベース) : 県全体100%

●完成 率 (災害査定件数ベース) : 県全体94% (県管理漁港91%, 市町管理漁港96%)

気仙沼漁港



女川漁港



石巻漁港



荒浜漁港



漁場の復旧状況（令和3年3月末現在）

ガレキの撤去状況

- 令和3年3月末までに、漁場に流入したガレキ約28.7万m³を撤去（県庁舎高層棟（約25万m³）の約1.1倍程度）
- 漁場のガレキは海上からは見えず、潮流等により移動することから、完全に撤去することは困難
- 今後も漁業活動に支障を来さないよう、長期の取組が必要

漁場のガレキ撤去状況

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計
専門業者による撤去	149,293	16,235	4,267	2,679	1,573	1,567	829	2,726	199	183	179,551
漁業者による撤去	84,228	9,298	7,322	2,171	860	563	932	542	514	617	107,047
合計	233,521	25,533	11,589	4,850	2,433	2,130	1,761	3,268	713	800	286,598



漁場の整備

- 松島湾や石巻市万石浦では津波や地盤沈下等で多くの干潟が消失、流出
- 国の「水産環境整備事業」により干潟の復旧整備を実施
- 復旧した干潟のうち一部でアサリの漁獲が再開



最も早く復旧した万石浦の干潟では、宮城県漁協が平成28年に生息密度を把握するために試験採取を実施し、殻長2cm以上のアサリが1m²当たり855個採集され、順調にアサリが増殖していることが確認されました。この結果を踏まえ、平成29年から宮城県漁協は震災後7年ぶりに漁獲を再開しました。

漁船漁業の復旧状況 (令和3年3月末現在)

漁船の復旧状況



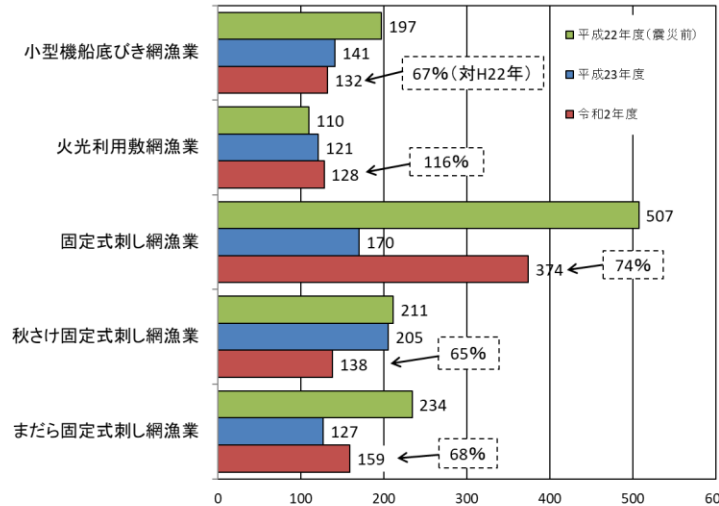
※震災前に稼働していた漁船を9,000隻と推定

沿岸漁業

●平成23年6月以降、市場の再開に合わせ、イカ釣り、カゴ、刺網、小型底びき網漁業などが再開

主な漁業の許可等の状況

単位：件



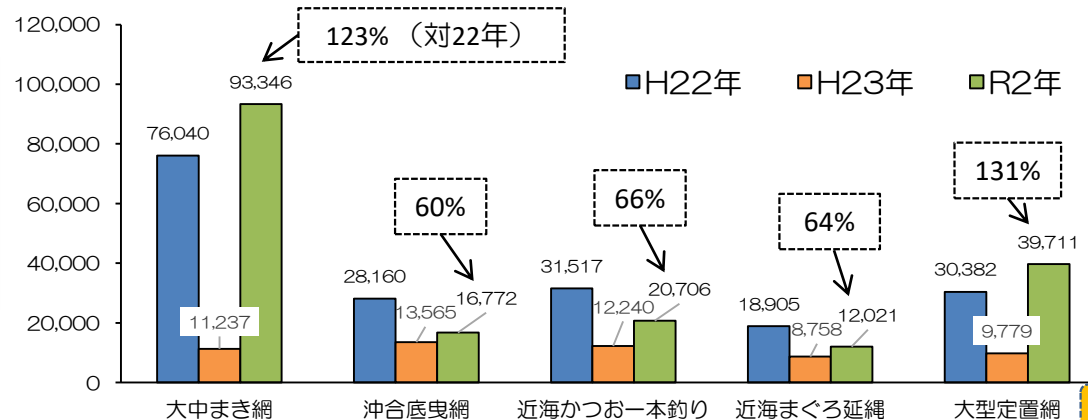
サバの水揚 石巻魚市場 (まき網漁業)

沖合・遠洋漁業

- 沖合・遠洋漁船は被災を免れた船が多く、遠洋漁船は他港への水揚を軸に震災直後から、沖合底びき網は平成23年9月以降、操業を再開
- 令和3年2月から福島県沖での沖合底びき網の操業を再開

漁業種別水揚状況 (県内9魚市場 暦年)

単位：t



復旧状況【漁船漁業】



イワシの水揚



近海まぐろ
延縄漁船



定置網の水揚



サンマの
水揚



キチジの水揚



出港を待つ
捕鯨船



マグロの
水揚



カツオの
輸出



北限のシラス
水揚

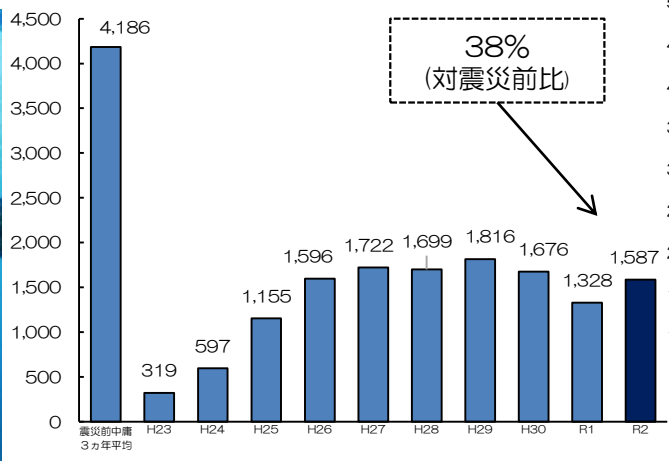
養殖業の復旧状況① (令和3年5月末現在)

●養殖施設は、5万1千台が設置済みで復旧完了 ●共同利用施設は、855件整備され復旧完了

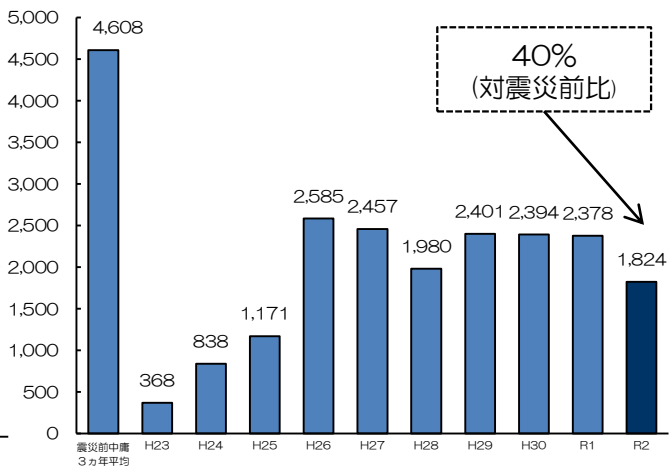
カキ 生産期：9月～翌5月



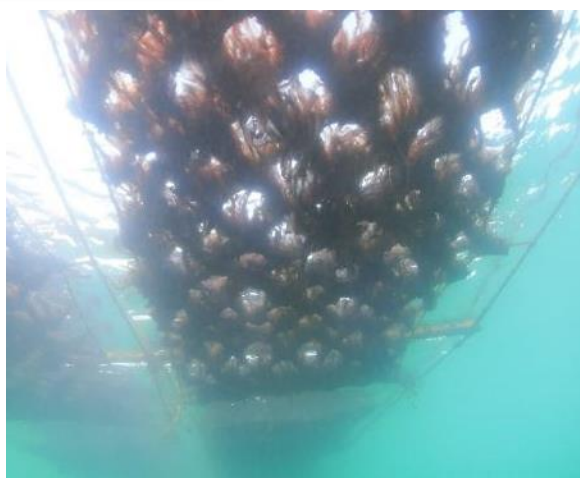
生産量 (t)



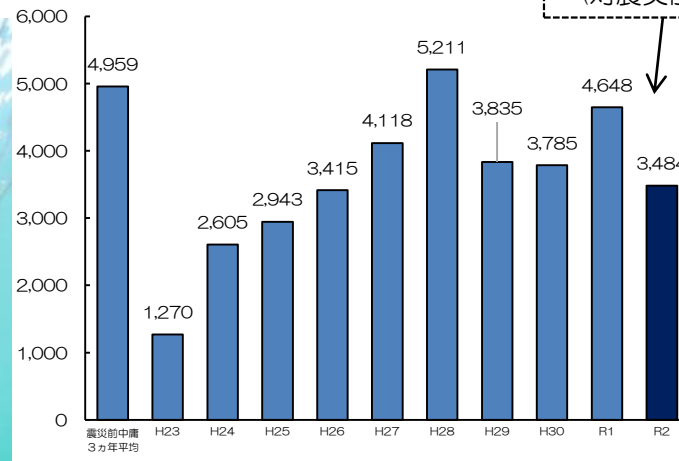
生産額 (百万円)



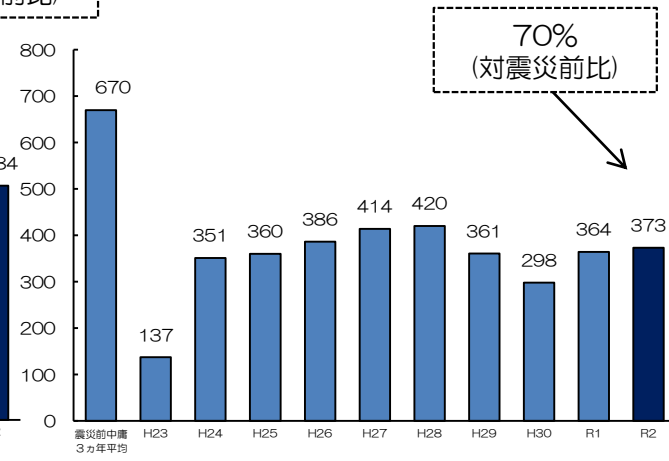
リ 生産期：11月～翌5月



生産量 (百万枚)



生産額 (百万円)



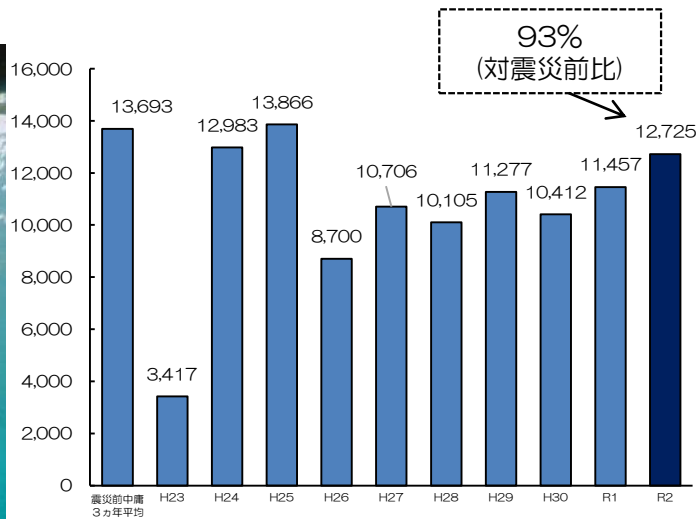
養殖業の復旧状況② (令和3年5月末現在)

ワカメ

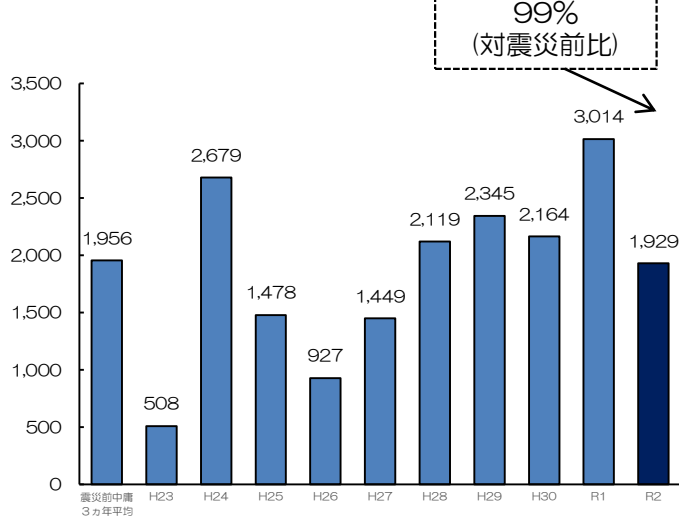
生産期：12月～翌5月



生産量 (t)



生産額 (百万円)

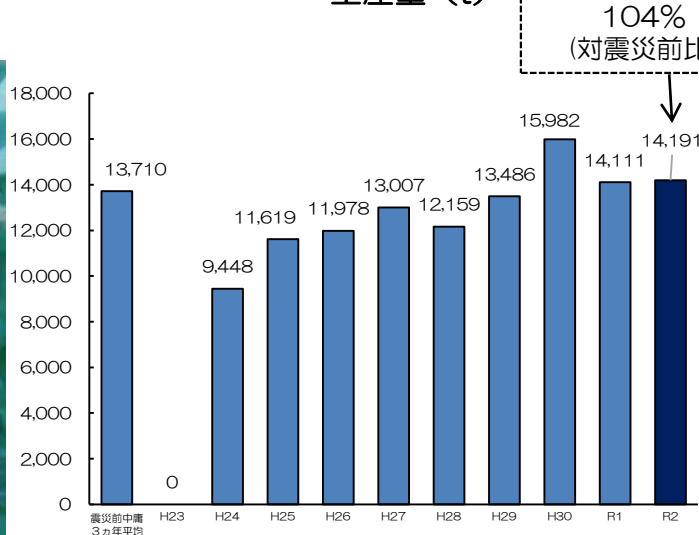


ギンザケ

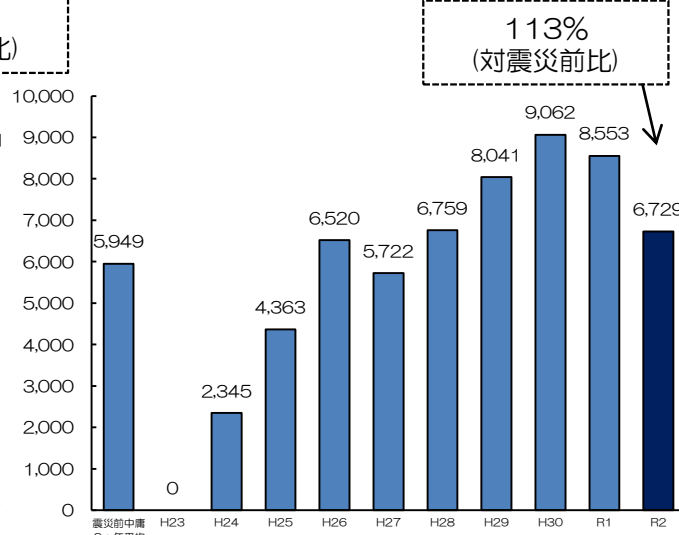
生産期：3月～8月



生産量 (t)



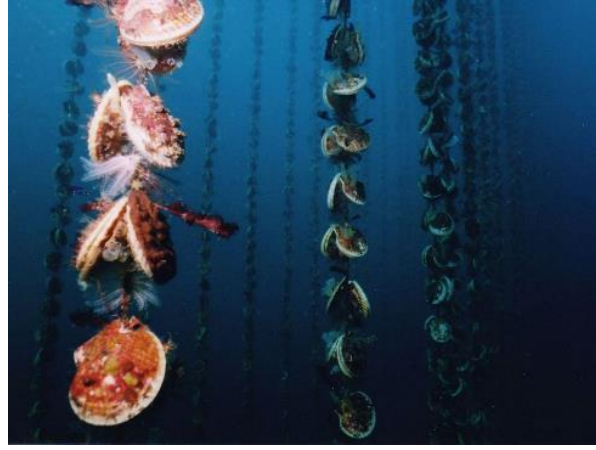
生産額 (百万円)



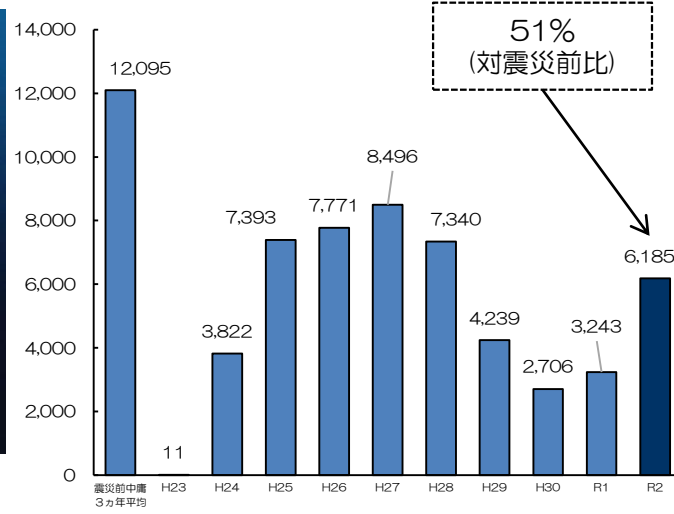
養殖業の復旧状況③ (令和3年5月末現在)

ホタテガイ

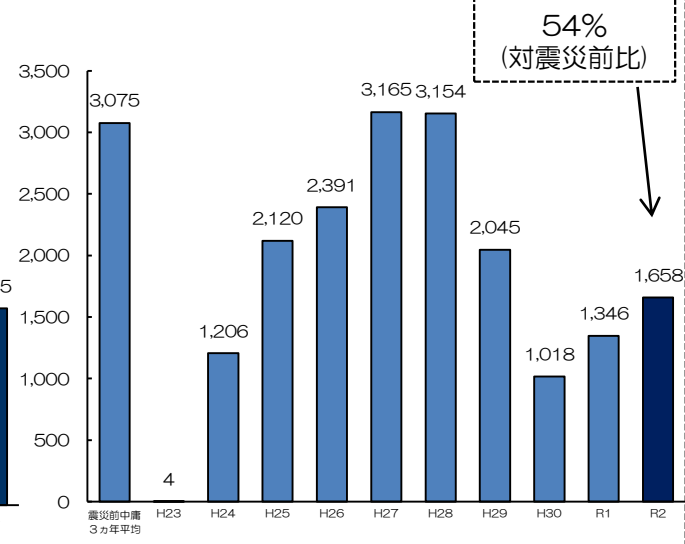
生産期：周年（4月～翌3月）



生産量 (t)



生産額 (百万円)

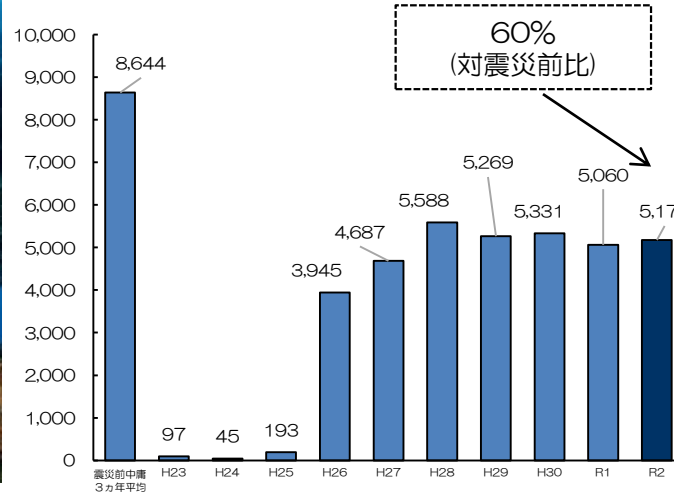


ホヤ

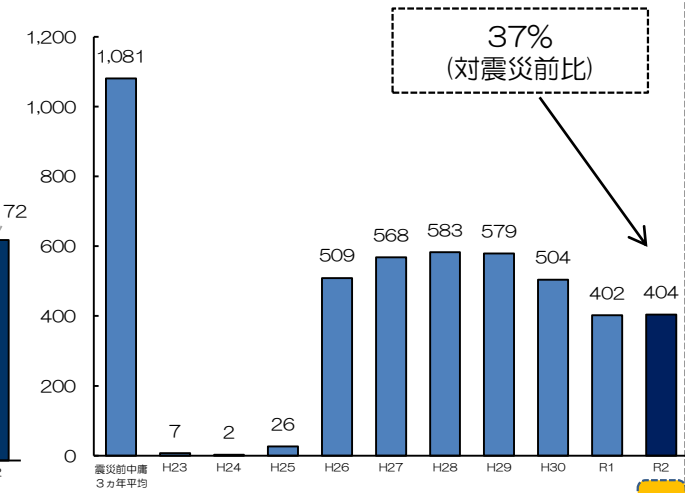
生産期：1月～12月



生産量 (t)



生産額 (百万円)



復旧状況【養殖業】

カキ養殖



ホタテ養殖



耳吊り作業



ホヤ養殖



ワカメ養殖



ギンザケ養殖

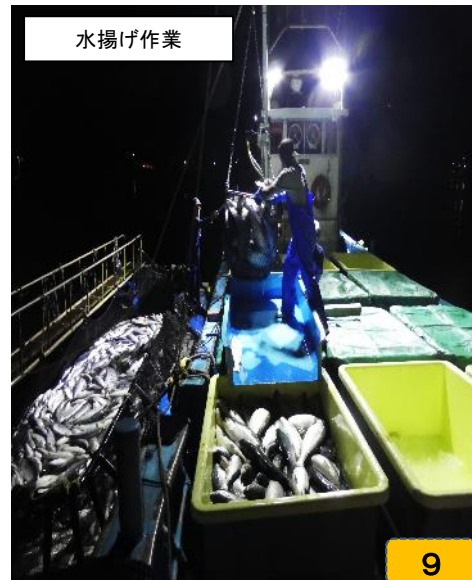


養殖用いけす



生産量日本一の
ギンザケ

水揚げ作業



カニ養殖



復旧状況【魚市場】

●本県5つの主要魚市場すべての復旧が完了し、水産庁が定めた「漁港における衛生管理基準」の最高レベルであるレベル3に対応可能な高度衛生管理型魚市場へと生まれ変わりました。

平成31年4月供用開始「気仙沼市魚市場」



平成27年9月「石巻魚市場」



平成28年6月「南三陸町魚市場」



平成29年10月「塩竈市魚市場」



平成29年5月「女川魚市場」



原子力発電所事故による影響への対応

平成24年4月1日以降の新基準値設定への対応について

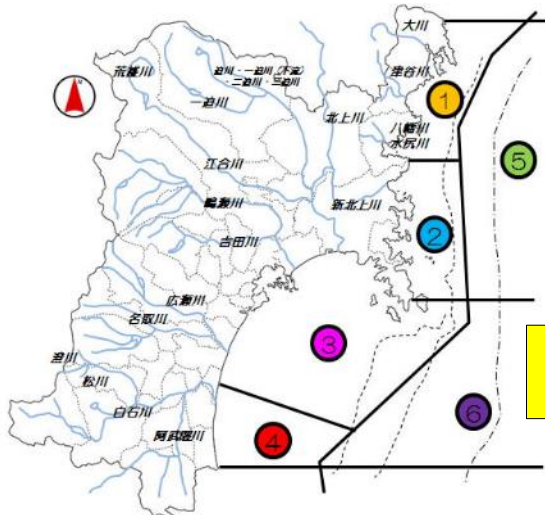
放射性セシウム濃度100ベクレル/kgを超える水産物を市場に流通させず、安全・安心な本県水産物を消費者に供給することが不可欠であることから、水産物の検査体制を強化するとともに、漁業団体、流通加工団体など水産関係団体（23団体）が一堂に会する「宮城県水産物放射能対策連絡会議」を設立しました。

県内の各魚市場に放射性簡易検査機器を導入し、水揚げされた水産物の検査を実施しています。

- 1 隣県の調査結果も踏まえ、調査を強化
- 2 安全を見込んで、100ベクレル/kg未満の値でも出荷自粛・操業自粛の是非を検討

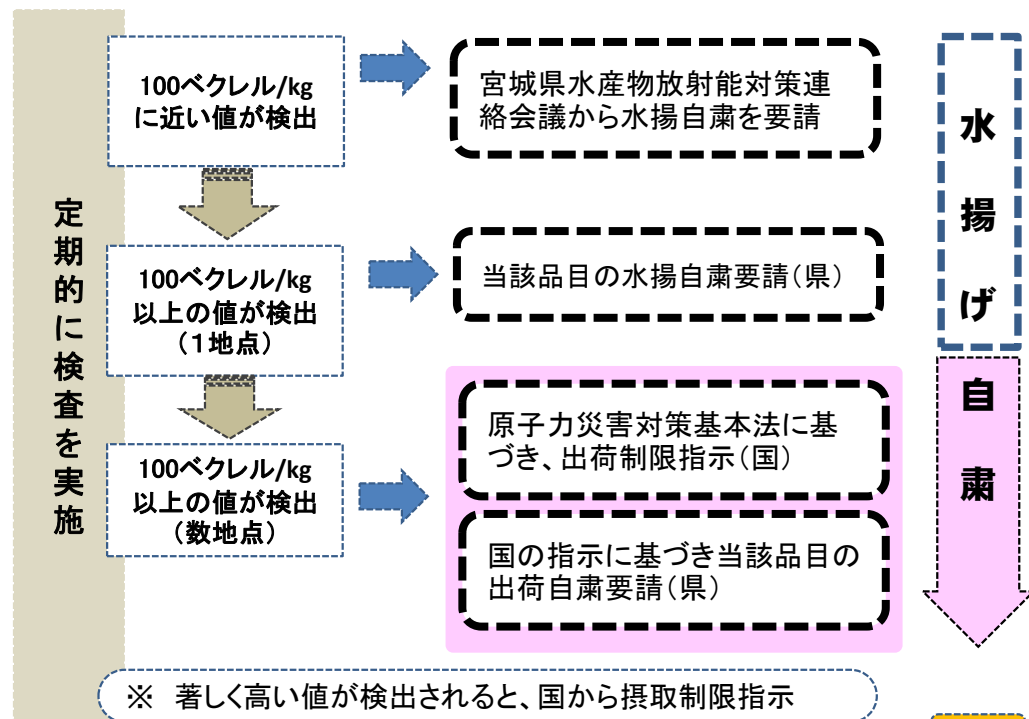
検査体制と調査海域

宮城県では、本県沖合海面を7つの海域に区分し、本県の主要水産物や、これまで50ベクレル/kgを超えたことのある水産物を中心に、年間約1,500検体をゲルマニウム半導体検出器により検査しています。また、各魚市場等において、セリ前に年間約15,000検体の検査を実施しています。



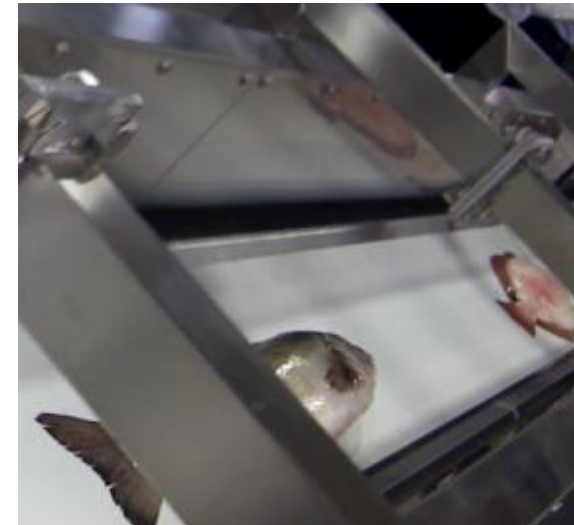
検査結果は
県のホームページで公開

検査結果を踏まえた水揚自粛措置等



【放射性物質検査状況】

連続個別非破壊式放射能検出器



簡易放射能検出器



ゲルマニウム半導体検出器



販路回復に向けて (令和3年3月末現在)



県では、県民の皆さんに宮城県の水産物の美味しさを知って、食べてもらうため、毎月第3水曜日を「みやぎ水産の日」と定め、消費拡大を目指した様々な取組を行っています。

オンライン商談会

県内の水産加工業者を対象にオンラインを軸とした商談会を開催しています。



展示会への出展

県外への販路開拓・拡大を図るため、シーフードショー等の展示会に「宮城県ブース」を設置して出展しています。



さかなファンの育成

魚食や水産物に興味を持ってもらうため、魚の耳石の取り方を学ぶ講義・実習などを行っています。



食材情報の発信

その月の「みやぎ水産の日」テーマ食材と簡単レシピを掲載したチラシなどを配布しています。



配布の様子

九州地方等への県産ホヤの販路拡大

九州地方の量販店、流通業者等と連携して、ホヤを中心とした県産水産物・水産加工品販売を実施し、販路開拓・拡大を図っています。



料理教室の開催

調理や試食を通じて県産水産物の魅力をPRするため、旬の食材を使用した料理教室を開催しています。





あ

「寒い海に力を合わせ
寒風が吹き抜ける町の海岸線は短い津波で傷ついた漁地場の産業を復活「やわらかくておい力を合わせるみん



ありがとう。

「水産都市の名にかけて、見せるぞ、宮城・石巻の底力!」
震災で、人もまちも傷ついたけれど、三陸の海はやっぱり私たちの誇り。

早朝の仮設の石巻魚市場には、水産業復興に携わる人々の姿がありました。

市場にはおよそ1,000の水産物産品、600以上の種類、水産加工産品300以上、水揚げ量は全国2位

ありが

「もう一度『かまぼこ日本一』の宮城・塩釜のかまぼこ業者が一致

塩釜神社の門前町、仙台藩の外港として発展してきた塩釜かまぼこは水産物加工品の生産量が日本一の宮城県で、昔の呉船の工場跡が跡地で被災し、宮城県の生産量は一時「塩釜のかまぼこは、どこにも負けない味だ」「おいしきこ製造機械の提供など全国からの応援を受けて、再び立ち上げ直すはもう一歩、日本一、そして世界へ。水産のまろ、

復興へ頑張ろう! みやぎ
復興に取り組む宮城県から、感謝をこめて



ありがとう。

「宮城県・塩釜の海の元気を、全国の皆さんにお届けします!」
塩釜水産物仲卸市場、では、毎朝威勢のいい声と笑顔が行き交います。

魚の町・塩釜を象徴する、元気いっぱいの海の市「塩釜水産物仲卸市場」。

多くのご支援をありがとうございました。

復興へ頑張ろう! みやぎ
復興に取り組む宮城県から、感謝をこめて報告します。
ポスターとホームページでお伝えしていきます。
詳しくは <https://sites.google.com/site/kanshamiyagi/>

復興へ頑張ろう! みやぎ
復興に取り組む宮城県から、感謝をこめて報告します。
ポスターとホームページでお伝えしていきます。
詳しくは <https://sites.google.com/site/kanshamiyagi/>